

経済政策総論	1 市場経済機構を含む社会の特徴(現状、問題点、改善の方向)を考える。 2 とくに経済政策の基本的問題である分配ルールのあり方について詳しく考える。 3 とくに効率性、公正性、慈善性の視点から現状を詳しく考える。	1 経済政策の基本的問題である分配ルールのあり方を十分理解している。 2 とくに効率性、公正性、慈善性の視点を十分理解している。	○	◎	◎	△	△	◎	△	○	△	△	△	◎	△	○	◎	△	
厚生経済学 金融経済論	この講義では、初めて金融論を学ぶ学生を対象とする。現実の金融現象を理解するために必要な基礎的な学力を育成する。「なぜこの理論を学ばなければならないのか」、あるいは、「理論がどのように現実を説明しているのか」がよくわかるような解説を心がけたい。	金融論の基礎的知識の習得 国民経済というマクロ的視点をもつ金融経済に関する統計データを正しく把握する力を身につける 貨幣の役割、利率とはなにかなど、貨幣理論の基礎を理解する 我が国の金融市場や金融システムの概略を理解する。	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○	△	△		△	
金融システム論																			
財政学	1 財政とその機能である資源配分機能・所得分配機能・経済安定化機能について 2 公共財の特質とその配分決定について 3 租税の本質、とその諸原則、課税の公平性と効率性について 4 公債と財政赤字、異時的資源配分、世代間公平に関して	財政とは何かを知ること 政府が財政手段を用いて如何なる政策目的を達成すべきかを理解すること 公共財の本質とその最適水準決定における困難性について理解すること 租税手段が配分と配分とどのように影響し、政策上どのように利用すべきかを理解すること 公債手段と租税手段との関係、異時的配分・配分における効果を理解すること	◎	△		○		◎	○	○									
公共政策論	財政政策と金融政策の関連を把握する。政府の様々な政策の目的、影響、評価についての理解を深める。	公債発行と金融政策の関連を理解すること。財政政策(例、減税・公共投資など)の経済効果を理解すること。政府の政策形成、政策評価方法を把握すること。	○																
日本財政論	一般会計、特別会計、財政投融资の制度を理解する。公債発行について理解する。財政赤字の影響を理解する。	中央政府の歳出入の仕組み、課題を理解すること。財政投融资制度、今後の改革について理解すること。公債の種類、公債発行と財政赤字との関連を理解すること。	○																
地域経済論	地域における経済現象とその主要な理論・モデルについて学ぶ。経済学を基礎とし、空間という要素を取り入れてヒト、モノ、カネ、情報の動きを見ていく。 ・経済のグローバル化とともに、地方分権が叫ばれるなかで、平成の大合併などにより地域の役割はますます重要な局面を迎えている。地域内、地域間での財・サービスやヒトの往来、さらには大都市がある一方で農村もあり、単に地域と捉えるだけでは不十分な形態が、地理的特性や人口構成、産業構造などによっても異なる。これら地域経済に関わる諸活動や地域の構造を理論的な観点から学んでいくとともに、地域に関連するデータを用いてグラフの見方やその背景を検討しながら地域間の比較や分析を行う。	・地域の諸問題に関する理論・背景を理解するとともに、地域データに基づいて地域を分析し、地域の課題に対する考え方を修得する。 また、関心の深い地域・テーマを自ら設定し、レポートの作成を通じて、問題の所在と解決へ向けた多面的なものの見方ができるようになる。 ・経済学の基礎理論・モデルに基づいた現実の地域経済の理解、応用力を身につける。 ・問題に対する多面的な見方を培い、それに対処するための道筋をつけることができる。 ・日ごろから抱えている地域経済に関する疑問を学問的観点から捉える。 ・疑問に思ったことは自ら積極的に調べる。 ・理論・モデルの基礎に基づいてデータを正しく処理・分析し、レポートが作成できる。 ・パソコン・ソフト(ワード、エクセル)を利用して地域データを加工・分析し、レポートを作成することが可能となる。	○	○		△	◎	△		◎			○		△				
地方財政論	1. 国と地方の財政関係について 2. 地方分権改革の状況について 3. 地方公共団体の制度について 4. 地方の財政収入と財政支出について 5. 地方税、地方交付税、国庫支出金、地方債について	わが国の地方財政について、その仕組みや国の財政との関係を知る 地方分権改革の歴史と現状の課題を学ぶこと 地方の財政収入と財政支出の全体構造について知ること 種々の収入制度と支出制度の仕組みを学び課題について考察すること						○	○	◎							△		
地域福祉社会学	1. 地域社会と福祉の関わりについて、高齢者福祉をテーマに考える 2. 高齢者のおかれている現状とこれまでの日本の高齢者福祉政策の変遷を明らかにする 3. 今後「いかなる超高齢社会が描かれているのか」について考察を深める 4. その際、地域社会の役割変化に着目し、新たなコミュニティのあり方を考える 5. ジェンダー視点を有効な分析手段として使用するため、ジェンダー概念についても詳しく講義する	1. 日本の高齢化状況と高齢者の生活を知る 2. 社会政策としての高齢者福祉の成立を理解する 3. 国家・市場・家族・地域と高齢者介護との関連について理解を深める 4. 現行の高齢者福祉政策に関する知識を得る 5. 自分の生きていく社会状況として高齢化を理解する		○									○			◎	◎		
社会政策論	1. 社会政策論の理論、歴史、現状に関して概説する。 2. 社会政策論の二本柱、労働政策と社会保障に関して、雇用・失業政策、労働基準政策、労務関係政策、社会保険(年金、医療保険、介護保険等)、公的扶助(生活保護)、社会福祉(母子福祉、児童手当、高齢者、身障者など)、公衆衛生などに関して、基本事項を概説する。 3. 特に失業対策、女性労働政策、年金や介護問題など時事問題として社会的注目を集めているテーマをピックアップする。	1. 社会政策論の基本的事項に関して知識を習得して、述べられるようにする。 2. 1と関連するが、左記のような社会政策論の様々な項目に関して、深く広く概観を得ることを目標とする。 3. 特に左記のような時事問題として社会的注目を集めているテーマに関してできるだけ精通させ、社会に出てから有益なように、基礎的な知識と理解を養う。	○	△	○													◎	
労働経済論	1. 労働経済論の理論、歴史、現状に関して概説する。 2. 日本の雇用慣行、即ち終身雇用制、年功序列型賃金体系、企業別労働組合などに関して、通説とそれを批判的に検証する学説を概説する。 3. 特にキャリア形成論を主軸として解説する。	1. 労働経済論の基本的概念を理解して述べられるようにする。 2. 日本の雇用慣行の通説を批判的に捉える学説について、その考え方を理解する。 3. 日本の雇用慣行には、長年に渡って仕事能力を向上させるというキャリア形成の面もあることを理解させ、社会に出てから有益なように、将来ビジョンを描けるようにする。	○	○	○									○		◎			
ジェンダー論	1. 生活の様々な場面に織り込まれているジェンダー構造を可視的にすることを試み、ジェンダーが私たちの生活や選択に与える影響とその帰結を考察する。	1. ジェンダー構造とは何か?を知る 2. 自分のなかにあるジェンダー構造を意識化する。 3. 日常生活(社会)に潜むジェンダー構造を意識化する。 4. ジェンダー構造が引き起こす社会問題について理解を深める。 5. (応用として)「当たり前(本質的なもの)」とされている様々なものが、実は社会的に作られた物(社会制度)である、ということを理解する。			◎									◎		◎	○	◎	
日本経済史総論	1. 明治維新以降の近代日本経済史を取り扱う。 2. 幕末の開国により世界資本主義体制の下に強制的に編入され、「後進資本主義国」として出発することになった日本が、産業革命を成功させ、経済的発展を成し遂げた過程を明らかにする。 3. 日本における資本主義社会の形成過程や特質、その将来像について検討する。	1. 現在我々が生きる資本主義社会の歴史的特徴を把握する。 2. 日本経済史に関する様々な視点・学説について理解する。 3. 日本の経済発展のプロセスや要因を具体的に把握する。 4. 日本経済の歴史を学ぶことを通じて、現代の経済社会を分析するのに必要な幅広い視野を養う。	○	◎	△								◎	◎					

